

京都産業大学ギャラリーのあゆみ

昭和 40 年 (1965)

- 4月 京都産業大学開学
荒木俊馬、初代学長に就任 (後に総長となる)

平成 24 年 (2012)

- 2月 壬生校地 (むすびわざ館・附属中学校・高等学校新校舎) 完成
- 5月 むすびわざ館に京都産業大学ギャラリーオープン

平成 27 年 (2015) 京都産業大学創立 50 周年

- 3月 博物館相当施設に登録
- 4月 京都・大学ミュージアム連携に加盟
京都市内博物館施設連絡協議会に加盟
- 10~11月 合同展覧会「京都と首里：二つの王都ー大学は宝箱！
京都・大学ミュージアム連携出展 in 沖縄ー」に出展

平成 28 年 (2016)

- 8~9月 合同展覧会「考古もいっぱい！大学は宝箱！京都・大学
ミュージアム連携合同展」に出展

平成 30 年 (2018)

- 12~翌2月 合同展覧会「《京都好博學！》UNIVERSITAS 京都・
大学ミュージアム連携出展 in 台湾」に出展

令和元年 (2019)

- 8~12月 ICOM 京都大会 2019 開催記念 京都・大学ミュージアム
連携+による「京都の伝統」発信プロジェクトに参加

令和 2 年 (2020)

- 8月 Web 展示開始
- 12月 YouTube にて京都産業大学ギャラリーチャンネル開始

令和 3 年 (2021)

- 2~3月 合同展覧会「京都・大学ミュージアム連携 online 出展
スポーツと京都」に出展

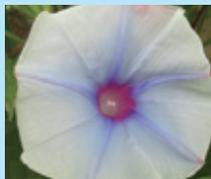
令和 4 年 (2022) 京都産業大学ギャラリー開館 10 周年

- 4月 公益財団法人 日本博物館協会に入会

✽ 京都産業大学附属中学校・高等学校と連携した活動も実施 ✽

これまでに高等学校生物部の育てた宇宙アサガオの屋外展示や、生物部の活動を取り上げた企画展を開催しました。

中学校・高等学校歴史部とは企画展の内容に応じて、測量の実習や伝統産業の見学・体験、大嘗宮の模型や京都大原の立体模型の作成・展示等の活動をしています。



宇宙アサガオ



大嘗宮の模型



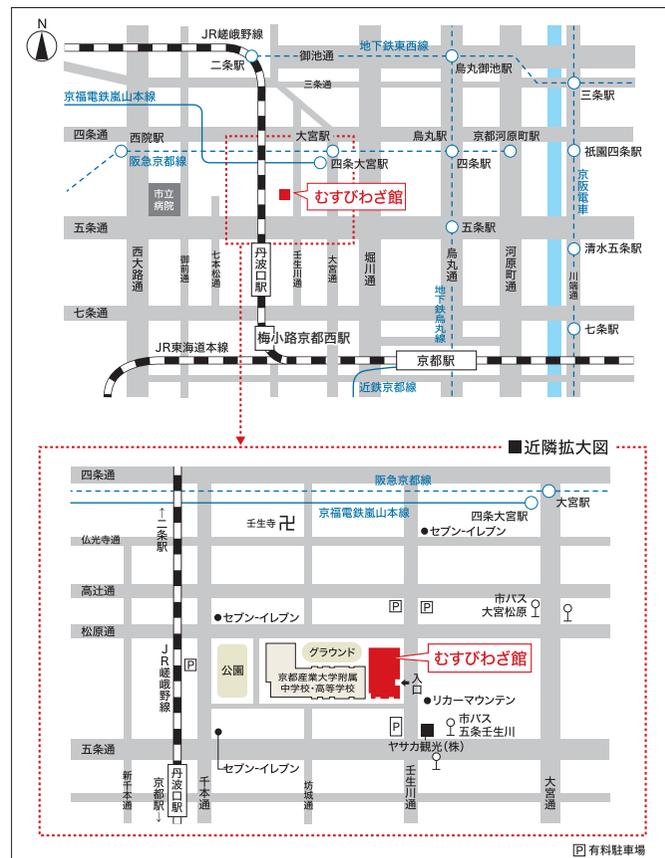
京都大原の立体模型

ご利用案内

- 開館時間 10:00~16:30 (入館受付は 16:00 まで)
- 休館日 日曜・祝日 ※詳細は Web サイトをご覧ください。
- 観覧料 無料
- 交通案内 JR 嵯峨野線 丹波口駅より 北東へ徒歩約 7 分
阪急京都線 大宮駅より 南西へ徒歩約 11 分
京福電鉄嵐山本線 四条大宮駅より 南西へ徒歩約 11 分

バリアフリー情報 車椅子対応トイレ・車椅子貸出 (1 台) あり

■ むすびわざ館へのアクセス



※駐車場・駐輪場はございません。ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。

京都産業大学ギャラリー (京都産業大学 壬生校地 むすびわざ館 2 階)

〒600-8533 京都市下京区中堂寺命婦町 1-10

TEL.075-277-0254 FAX.075-277-1699

e-mail gallery-office@star.kyoto-su.ac.jp

Web サイト <https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/>



京都産業大学ギャラリー
Kyoto Sangyo University Gallery



設立の趣旨

京都産業大学は、昭和40(1965)年、宇宙物理学者・荒木俊馬^{あらかもとしま}によって京都・神山の地に創設されました。創立50周年に向けた記念事業の一環として、平成24(2012)年に京都・壬生に本学と社会を結ぶ「知」の発信拠点となる「むすびわざ館」を開館しました。その「むすびわざ館」の2階に開設されたのが、京都産業大学ギャラリーです。



初代総長 荒木 俊馬

「むすびわざ」の語は、荒木俊馬が「産業」を「むすびわざ」と表し、「新しい業をむすぶ」という意味を込めたことに由来しています。また「むすぶ」は「産す」という語源を持つことから、「産み出す」と解しています。

「新しい業をむすび、そして新しいものを産み出す」、これは京都産業大学が創立時から大切にしてきた精神です。創立50周年を機に、さらに社会との連携を推進することを目指して、学内外の様々な知恵が集う場、社会と共創し合う場を形作ります。これからの世界に希望の光を照らすような、新しい業を、価値を、そして人材を産み出す、その先駆けを担うのが「むすびわざ館」の使命であり、京都産業大学ギャラリーはこの使命を果たすべく設立されました。

京都産業大学ギャラリーでは、企画展・特別展・所蔵品展等を開催しています。これまでに歴史・文化・芸術・民俗・産業・自然科学に関する展示を開催し、多様な分野の方と業をむすんできました。

開館当時から継続している上賀茂神社の賀茂競馬の調査成果も随時、展示をして公開しています。

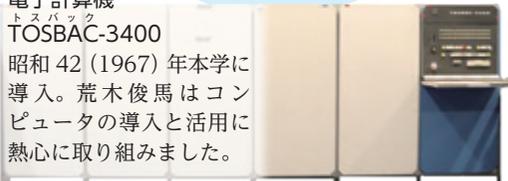
この他、開学期に導入した大型コンピュータや総長 荒木俊馬の胸像を展示し、京都産業大学の歴史をパネルで紹介しています。1階ロビーには、荒木俊馬の長男・荒木雄豪^{あらかみゆうこう}(本学名誉教授)が使用した本学の公用車第1号のベンツも展示しています。

開学期のコンピュータ

電子計算機

トシバック TOSBAC-3400

昭和42(1967)年本学に導入。荒木俊馬はコンピュータの導入と活用に関心に取り組みました。



火事装束

陣笠

ギャラリー所蔵資料

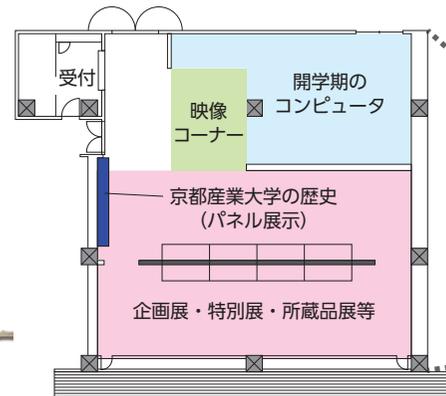
京都の商家に伝わった近世から近代にかけての大福帳等の古文書や秤・陣笠・火事装束といった生活道具類を収蔵しています。所蔵品展で公開します。



瓢箪秤



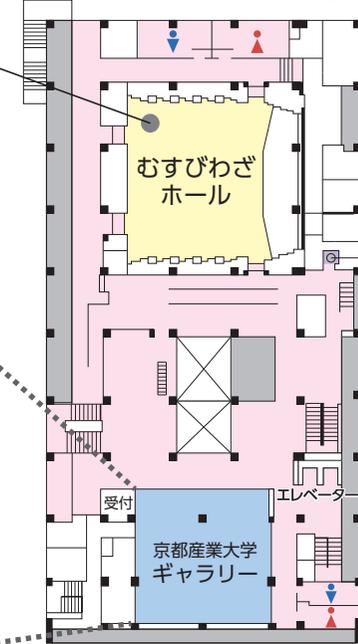
むすびわざホール 418名収容。展示に関連する講演会やシンポジウム等をこちらで開催します。



フロアマップ



2階

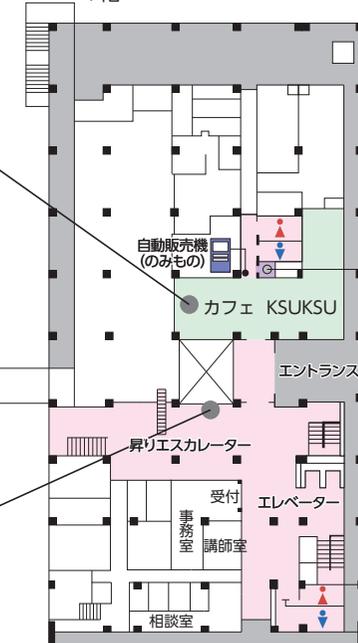


カフェ KSUKSU 日替わりランチや焼きたてパン、カレー、からあげランチ等を提供しています。

営業時間：平日 11:00～13:30

※詳細はWebサイトをご覧ください。

1階



公用車第1号の Benz 170V

